

除雪機 による

事故を防ごう!

人が
いる時は
使わない!



作業中は、
絶対にまわりに人を近づけない。



エンジンを
掛けたまま
離れない!



作業の時以外は、
必ずエンジンを止める。



雪かき棒を
使って!



雪詰まりを取り除く時は、
エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。



後方
注意!



後進する時は、
足もとや後方の障害物に気をつける。



使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。



必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく利用してください。



除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、
普及に努めています。

除雪機安全協議会

(事務局: (一社)日本農業機械工業会)

<http://www.jfmma.or.jp/jyoankyo.html>

除雪機安全協議会

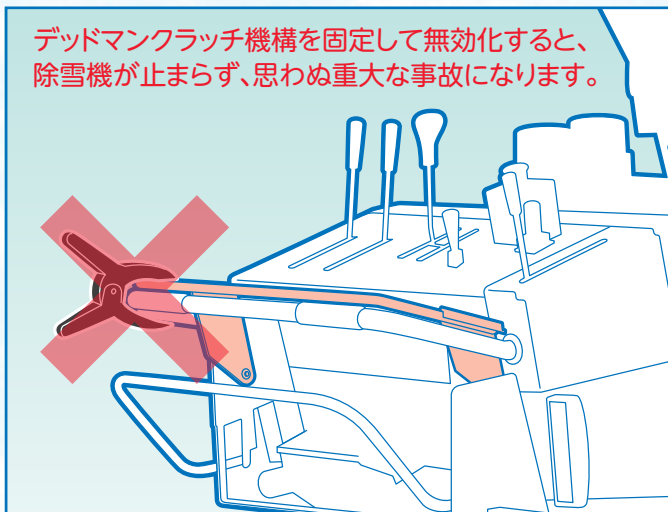
検索



除雪機を安全にお使い頂くために

安全機構の無効化は非常に危険!!

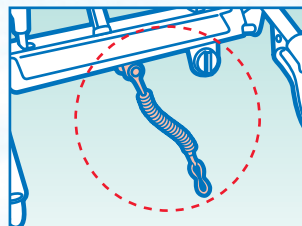
デッドマンクラッチ機構を固定して無効化すると、除雪機が止まらず、思わぬ重大な事故になります。



デッドマンクラッチ機構

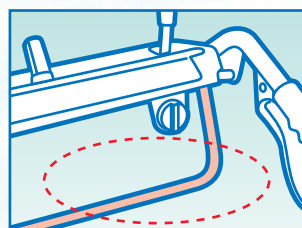
手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。

※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。



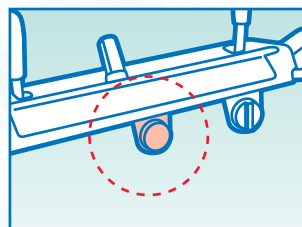
緊急停止クリップ

作業時には必ずクリップを体に付けてください。クリップを体に付けておけば、機械から離れた時に停止させることができます。



緊急停止バー

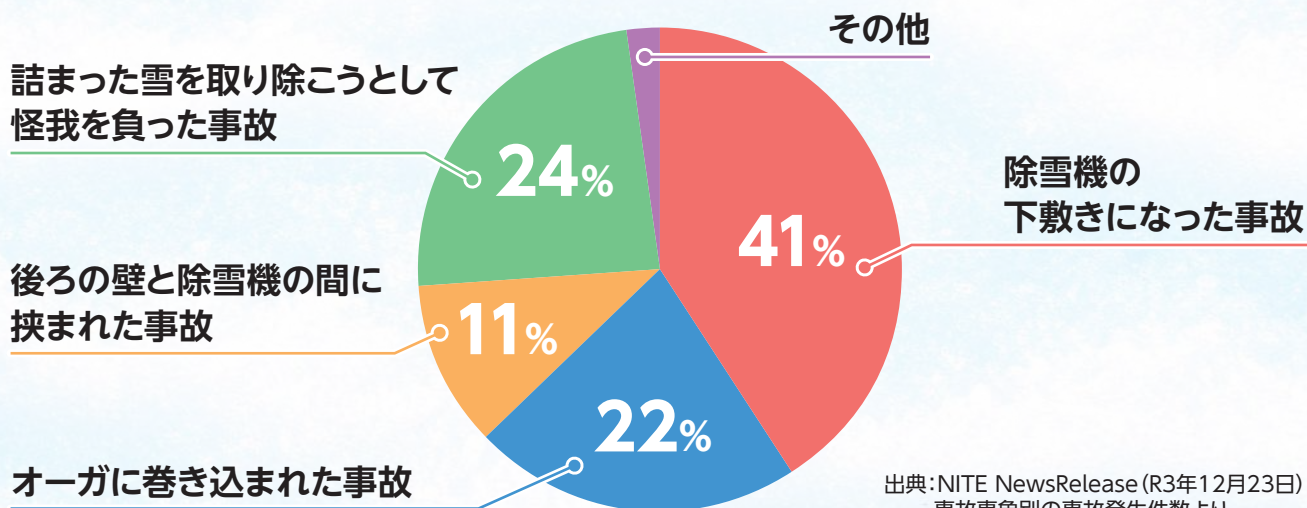
バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



緊急停止ボタン

ボタンを押すと機械が停止します。

歩行型除雪機の重大事故の主な事故要因



除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。



⚠ 注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づく時は、必ずエンジンを止める。
- 後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は、絶対にまわりに人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。
- 定期点検を行う。特に安全機構が正常に動作するかを確認する。
- 古い機械(平成16年4月以前)にはデッドマンクラッチ機構が装備されていない機種もあります。

「除雪機をご使用の際には、各市町村で決められたルールに従って除雪作業を行ってください」